

アンケート調査の集計結果についてご議論いただきたいポイント

○ ご議論いただく視点の例示

- ① 集計結果として出た数値を、どう評価するか。
- ② 集計結果として出た数値は、何が原因だと思うか。
- ③ 集計結果として出た数値は、仕方ないと思うか、改善するべきと思うか。
- ④ 「仕方ない」、「改善するべき」とそれぞれ思った理由はなにか。
- ⑤ 「改善するべき」とすれば、どのような手立てを講じていくべきか。

○ 医科診療所対象アンケート調査

- ① 問6 (1) かかりつけ医として提供している医療・サービス
 - ・「休日夜間の緊急時の対応」 15.2%
- ※ 市民対象アンケートの問16 かかりつけ医に望む医療サービス
 - 「夜間休日の緊急時の対応」 45.8%
- ② 問6 (3) 提供できていない理由
 - ・「外来診療その他の活動で忙しく余裕がない」 74.1%
 - 「院内のスタッフ等診療体制が不十分」 48.1%
- ③ 問7 (1) 訪問診療・往診の実施
 - ・訪問診療・往診の両方(28.3%)とどちらか(19.5%)を行っているの合計 47.8%
- ④ 問7 (2) 訪問診療・往診を行っていない理由
 - ・「外来診療その他の活動で忙しく余裕がない」 81.0%
- ⑤ 問7 (4) 在宅患者の受入病院の確保
 - ・「救急車に依頼する」 62.5%
- ⑥ 問8 (2) ~ (9) 市立病院の地域医療支援の取組み
 - ・各取組みに対して、「条件(取組み)によっては参加(利用)しようと思う」が5割前後を占めている。
- ⑦ 問8 (11) 診療情報のネットワーク化への参加
 - ・「参加しようと思う」(6.7%)と「条件によっては参加しようと思う」(48.9%)の合計 55.6%
- ⑧ 問8 (13) 診療情報のネットワーク化に参加しようと思わない理由
 - ・「現状のままで支障がない」 56.3%

○ 市民対象アンケート調査

- ① 問12 休日夜間の急病時の対応 問13 かかりつけ医の有無
 - ・問13 「かかりつけ医がいる」 64.1% と問12 「かかりつけ医に行った」 9.9%
- ② 問17 在宅医療を希望するか否か
 - ・「希望する」が27.2%、「希望しない」が27.8%とほぼ同率で、「わからない」が44.4%となっている。
- ③ 問18・19 在宅医療の実現に支障となること・在宅医療を希望しない理由
 - ・「希望する」「希望しない」と答えた方双方とも、家族への負担、急病時の対応の不安が1位、2位を占めている。